

株式会社ヤマサキ

多品種小ロット・短納期の生産体制を実現

高性能研磨設備と乾燥庫の導入



生産工程の改善で、ベビーベッドの受注・売上向上を目指す

ベビーベッドの製造・販売、ベビーベッドを含むベビー用品のレンタル、介護用品のレンタル販売を手がけている株式会社ヤマサキ。昭和29年の創業当初は農機具の製造を行っていたが、30年代後半からベビーベッドの製造に着手。43年からベビーベッドの製造・販売とベビー用品のレンタルに専念し、その後介護用品のレンタル販売を開始した。

主力製品のベビーベッドは、日本製（岡山の自社工場で製造）、素材へのこだわり（全製品にドイツ産の高級ビーチ材（ブナ材）を使用、安全な塗料・接着剤の使用）、優れた耐久性、万全のア

フターフォロー（部品供給の長期対応）などを強みに、ベビー用品レンタル会社や家庭の信頼を得てきた。卸売に加え、平成16年5月からホームページで直販も開始。現在はアマゾンほか有力ECサイトでの販売も行っている。

顧客ニーズの多様化が進み、多品種小ロット・短納期化のニーズが高まる中、同社では生産工程に課題があり、納期に対応できない状況が続いていた。そのため受注機会を逃し、売上アップが図れていない。生産工程を改善するために高性能の研磨設備と乾燥庫を導入し、多品種小ロット・短納期化を目指した。

導入背景

古い設備による品質低下と時間ロス

研磨設備が古く性能が低いことから、部材に研磨ムラが多く生じ、検品や補修に時間を要していた。研磨ムラは塗装の品質低下も招いた。設備のペーパー（紙やすり）の交換が難しく、その都度社員が行うため、時間のロスが生じていた。塗装の乾燥方法は室内での自然乾燥で、下地塗装と仕上塗装の乾燥に各1日を要し、小ロット製品（25台以下）でも2日かかっていた。

実施内容

高性能研磨設備と乾燥庫を導入

高性能の研磨設備は、部材の厚さに対する機械調整をデジタルで行える、ペーパーの交換が容易、部材の送りがスムーズで研磨のムラがなくなる、といった多くの利点がある。同じ設備を2台導入し、消耗品・部品の共通化を図る一方で、1台に不具合が生じても生産工程に影響が出ないようにした。乾燥庫は庫内温度を60℃に設定すると40分で製品が完全に乾燥する。

事業成果

品質向上、時間短縮、コスト削減

新しい設備で研磨品質が向上したことで不良品が減り、検品や補修の時間が大幅に短縮した。部材が詰まって停止するようなトラブルもなく、ペーパーの交換もパート社員で容易にできる。設備が原因で生じていた時間のロスがなくなった。乾燥庫は塗料の乾きが悪い冬季や短納期など、季節と状況に応じた利用ができる。不良品が減少したことで、廃棄にかかるコストと労力も軽減した。



企業から一言

設備の導入で作業効率が激変。生産アップを目指します。

研磨設備の性能と操作性が高まったことで部材の研磨品質が向上し、作業における時間短縮も実現できました。以前はパート社員がベッド60台分の部材の研磨作業に9時から16時までかかっていましたが、今では15時に終えて別の仕事をしています。また、乾燥庫を設置したことで、2日かかっていた

小ロット製品の研磨・塗装工程が1日で完了します。必要なものを必要な時に計画的に製造することで在庫のムダが省けるようになります。多品種小ロット・短納期化が可能になり、今後は生産数アップが大きな目標です。

代表取締役社長 山崎 吉典



事業者の概要

代表者名	山崎 吉典
設立年月	昭和41年7月
所在地	〒700-0956 岡山県岡山市南区当新田485-18
TEL/FAX	TEL.086-241-1622 FAX.086-245-3928
URL	http://www.ymask.jp/
資本金額	4,500万円
従業員数	35人
業種	製造業（木製品製造）
事業計画名	ベビーベッドの多品種小ロット、短納期化に対応するための設備投資